

みなさんと力を合わせて くらしと地域を丸ごと支援

消費税10%
増税は中止を



日本共産党府会議員団の
議会論戦と活動をご紹介します。

日本共産党 京都府会議員団

安倍内閣は2019年10月から消費税10%増税を強行しようとしています。大企業は減税で空前の儲け、ところが京都の中小企業の7割が赤字で、働く人の収入も減少。増税すれば地域も経済も深刻な状況に。増税せずに大企業への減税などをやめることで社会保障などに必要な財源は確保できます。増税は中止すべきです。



長岡京市での調査

共産党府議団は「高齢者のくらしアンケート」を実施。「介護は限界」「少ない年金。介護料高い」など寄せられた声をもとに府の責任を追及。福祉現場の人材確保なども提案しています。

訪問対話で実態つかむ 高齢者の くらしと介護

外資のホテル建設で京都がズタズタ 京都の地域経済を守り 中小企業支援を

京都は、観光・インバウンド偏重で「簡易宿所」やホテル建設ラッシュ。住民の生活が脅かされ、住む場所も奪われる事態です。ほとんどが大手資本や外国資本、地元の経済活性につながりません。地元の中小企業を支援し、地域にお金が回る経済の振興を提案しています。

高すぎる

国民健康保険料(税) の引き下げはできます

高い国保料が命を脅かしている実態を示し、国保料の引き下げを求めています。国や府の負担を大幅に増やし、「均等割」や「平等割」などを公費で負担すれば、一世帯3万円の引き下げが可能です。

憲法9条改悪ストップ 平和と民主主義を守る

米軍基地
NO

京丹後市の米軍レーダー基地は拡張工事、福知山での実弾射撃訓練、基地日米共同の警備訓練などの新たな基地強化が行われています。

一方、京都府は、京都弁護士会主催の「第48回憲法と人権を考えるつどい」で、「改憲」がテーマで、講師が自民党の改憲案に批判的という理由で、共催を見送りました。

憲法9条を改悪して、戦争する国づくりを進める安倍政権に、京都府が協力するものであり、住民の命とくらしを守るべき地方自治体としてゆるされるものではありません。

子育て丸ごと応援を

全員制で温かい中学校給食の実現を

府の中学校給食の実施率は
全国ワースト2位

子どもの医療費は中学校卒業まで無料化を

府内の多くの自治体で実現
残るは京都市

京都府独自の給付制奨学金の実現を

国の給付制奨学金制度は
ごく一部しか利用できません



安倍悪政の
京都への
持ち込み許さず

命とくらしを守る自治体の役割発揮を

北陸新幹線延伸(2兆1000億円以上)など 大型公共事業優先ではなく 災害対策の抜本的拡充を

大阪北部地震や台風による大雨、強風被害で京都は甚大な被害。党府議団は府の河川改修の遅れや、土木事務所の職員が大幅に減らされていること



党府議員団共催
災害に強いまちづくり
シンポジウム(12月23日)

を指摘。防災対策予算の抜本的増額とともに、河川整備計画の前倒し、日常的な維持管理の実施等への予算確保、土木事務所や振興局の再配置と職員体制の強化を求めています。また、北陸新幹線の延伸やリニア新幹線誘致、さらに山陰新幹線推進をはじめ、大型プロジェクト推進を見直すよう求めています。

京都の浸水被害額は

841億8600万円

(平成24年から28年) **全国ワースト3位**

府の河川整備率

36% (全国ワースト6位) → 30年後 47% (整備計画完成後)

由良川流入84河川で 整備計画は10河川のみ

土木事務所技術職員

大幅減員

平成15年 332人 → 平成30年 299人 (▼33人)

**地震の屋根被害への助成や
強風での農業パイプハウス被害へ助成実現**

若者をはじめ 安心して働き続けられる 京都条例の制定を提案

京都の非正規労働者の比率は全国で2番目の高さ、月80時間以上の残業労働者の割合も7番目。ブラックな働き方も後を絶ちません。府が「若者をはじめ安心して働き続けられる京都条例」を作ること求めています。府議団は青年との対話を一貫して追及。

京都府でブラックバイト対策協議会を作らせました

農業・林業・漁業を守り 振興に全力

いま農林水産業は大変な事態におかれています。農業関連8法の改悪、地域林業のあり方を歪める森林経営管理法、沿岸漁業と水産資源の管理を歪める「漁業法」改悪など、民間大手や海外企業に委ね、小規模事業者を切り捨てるものです。

府会議員団は、議会での追及とともに倉林明子参議院議員らと京都府漁協幹部や定置網で漁をされているみなさんと懇談。「明日の京都の農業を考えるシンポ」では、生産組合や営農法人等の農業関係者と懇談。戸別所得補償、種子法、高齢化と後継者不足等々、厳しい現状や要望を伺ってきました。



議会報告要求懇談会

12月府会でハッキリ

府民の切実な願いに
“なんでも反対”の「オール与党」

- 消費税10%増税の中止を求める(意見書)
 - 全員制の温かい中学校給食の実施(決議)
- など共産党提案の府民の切実な願いをすべて否決

みなさんの声を集めて 府政へ届ける

調査・提案・運動で 府政を動かす



農業者との懇談
(12月9日)

2019年度政府予算で 定置網に補助が実現

漁業関係者から強い要望のあった定置網への補助事業が、2019年度政府予算に盛り込まれました。党府会議員団と倉林明子参議院議員が地元の関係者の強い要望を聞き、国会や府会でも取り上げてきたものです。

 まえくぼ義由紀 団長	 西脇いく子
 かみね史朗 副団長	 山内よし子
 島田けい子 副団長	 浜田よしゆき
 みつなが敦彦 幹事長	 さこ 祐仁
 本庄たかお	 原田 完
 成宮まり子	 馬場こうへい
	 森下よしみ

